

「深きものは深きを呼び求める」

オーエンズボロ ケンタッキー州 アメリカ合衆国
1953年11月04日

1 私の友人の一人が、アラパホの森で八年か十年ほど牛を放牧していました。自然というものには、人を呼び起こす何かがあります。人が大自然の顔をじっと見つめて「神はおられない」と言えるでしょうか。神はあの山々を造られました。

その日、雪解けの季節に、私たちは山の側面を歩いておりました。この大きくて、声も態度も粗野な男——八年前に初めて出会ったときは完全な無神論者で、「神など存在しない」と言い張っていた人です。けれども、その日、ほんの三十分ほどの後、彼はイエス・キリストを受け入れ、謙遜なクリスチャンとなりました。

彼は涙を流しながら銃を地面に落とし、私に腕を回して言いました。「ビリー、私は今日、あなたをここへ連れて来たのは一つの目的のためだったんだ。教会へ行きたかったのだ」と。彼らの言葉の意味を理解しなければなりません。それは確かに教会でした。私がかつて足を踏み入れたどの教会にも劣らぬ、偉大な森の大聖堂だったのです。

私たちはその日三十マイルを歩き、ついに山頂に辿り着きました。そしてその大聖堂にて、風が吹き渡る中、神がおられました。私たちは大地に頭を垂れてひざまずき、幼子のように涙を流しながら祈ったのです。なぜでしょうか？私たちの内には、その方を求める叫びがあるからです。そして、もし心にその叫びがあるなら、それに応えてくださるお方が必ずおられるのです。

2 少し前——そうですね、五十年前、あるいは百年前に、もし誰かが「電気というものがあり、光がつくのだ」と言ったなら、人々は笑い飛ばしたでしょう。けれども、ベンジャミン・フランクリンという一人の男がおりました。彼は扇を揚げ、その先に鍵をつけ、まるで空に釣り糸を垂れるように試みたのです。なぜなら、稲妻が光るとき、それが光をもたらすのだ、と彼の心の奥で何かが告げていたからです。

しばらくの時間がかかりましたが、彼はそれが静電気であることを知りました。そしてそれを瓶に閉じ込めたのです。皆さんの中にも、小学校の理科の授業で聞いたことを覚えておられる方がいるでしょう。彼がその瓶に電気を捕らえたとき、彼は叫びました。「捕まえたぞ！捕まえたぞ！」と。確かに彼はそれを手にしていました。けれども、それが何であるかは分かっていなかったのです。

多くのクリスチャンも、今日まさにそのようであります。救われて、イエスがあなたの罪を赦されたとき、あなたは「いただいた！」と言います。けれども、それが何であるかをまだ理解していないのです。フランクリンがそこまでしか行かなかったように。

しかし、神はその時、何をなさっておられたのでしょうか。神は世界に「電気」というものを啓示しようとしておられたのです。そしてそのために、ベンジャミン・フランクリンを用意しておられたのです。

3 その後、神は「トーマス・エジソン」という男を立てられました。彼は「捕まえたぞ！」というだけでは満足しなかったのです。彼はこう言いました。「もし私がそれを持っているのなら、それは必ず私に益をもたらさずだ」と。ダビデが言ったように「そのすべての恵みを忘れるな」と。

エジソンは疲れを知らぬ夜を過ごし、何万本もの導線を試しました。一本を試すと、その線では電流が流れない。もう一本、さらにまた一本……。それでも彼は負けませんでした。敗北することなどできなかったのです。なぜなら、彼の内側には「必ず光る」という確信があったからです。彼は心の底からそれを信じていました。そして、もしそう信じるなら、それは必ず起こるのです。深きが深きを呼ぶとき、それに応えるものがあるのです。何かが光らねばならなかったのです。

コーヒー一杯とサンドイッチだけで、一晩中働き続けました。一つの線がだめでも、彼は落胆しませんでした。けれども、多くのクリスチャンはどうでしょうか。ほんの小さな失望で心を折ってしまいます。偉大なる主ヤハウェを信じていると名乗りながら、その約束、その恵みをすぐに投げ捨ててしまうのです。私たちはそのことを恥ずべきであります。

しかし、エジソンは違いました。彼は「必ず光る」と信じていました。たとえ人から「狂っている」と言われても、彼は止まりませんでした。信じ続け、ついにはそれを証明し、この世界に電気を与えたのです。

電気は最初からそこにあつたのです。世界は常に電気を持っていました。しかし、ベンジャミン・フランクリンやトーマス・エジソンが起こされるまでは、人々はそれらのことを何も知らなかったのです。

4 さて皆さん、私の心の奥には「神は癒し主であられる」という確信があります。たとえ聖書が一冊も残されていなかったとしても、他に何の証拠がなかったとしても、私の心の深みがこれほどまでに信じているのなら、必ずどこかに「癒しの泉」が存在しなければならないのです。なぜなら、深きが呼ぶとき、それに応える深きが必ずあるからです。

つまりこういうことです。以前、新聞で読んだのですが、一人の小さな少年がおりました。彼は鉛筆の消しゴムをむしって食べたり、自転車のゴムのペダルまでも食べてしまったのです。人々は不思議に思い、医者に連れて行き、さらに専門のクリニックに送られました。するとわかったのは、その子の体には「硫黄」が必要だったということでした。

いいですか、もし体の内に「硫黄が欲しい」という叫びがあるのなら、その叫びに応える「硫黄」が必ず存在していなければなりません。わかりますか？その少年の体もまた、土のちりから造られたのです。そしてその体の中に硫黄が不足していたゆえに、硫黄を求めていたのです。ですから、先に「ポジティブ」、すなわち硫黄そのものが存在していなければなりません。その上で「ネガティブ」、つまり渇きや欠乏が起こり、それが叫びとなるのです。そして、実際に硫黄を与えると、彼の体は満たされ、渇きは癒されたのです。

5 ある時ここで、一人の女性に手術が行われ、その後に解剖がなされました。その女性は一日に二十個もの玉ねぎを食べていたのです。医者たちは「そんなことをしては命に関わる」と言い、玉ねぎを禁じました。けれども、その玉ねぎを取り上げられたとき、彼女は命を落としてしまったのです。

その後、解剖の際に彼女の体の中からある腫瘍のようなものが見つかりました。医師たちはそれを水に入れ、さらにそこに玉ねぎを入れてみました。すると、その腫瘍は玉ねぎを溶かしてしまっただけです。

皆さん、おわかりになりますか？その女性は自分ではどうすることもできなかったのです。彼女の内側に「玉ねぎを欲する」という渇きがありました。深きが深きを呼んでいたのです。

6 さて、この中で「神の癒し」を信じる方はどれほどおられますか？手を挙げてみてください。それこそが証拠なのです。どこかに必ず「泉」が開かれていることの証拠です。深きが深きを呼んでいるのです。

神は今夜もおられます。私は一生涯これを信じてきました。そして神の恵みにより、今日ここでその真実を証しするよう導かれました。今夜も、私はまだ「導線をひねり続けている」のです。そして私は二本の導線を見つけました。それによって、神の見える力——すなわち「神の癒しの力」を、一人ひとりの人生の中に引き込むことができるのです。

その二本とは「愛」と「信仰」です。この二つはまるで恋人同士のようなものです。愛が信仰と結ばれるとき、必ず愛は信仰に寄り添います。あなたが神をどこまでも愛するならば、神が決してあなたに嘘をつかれないことを知るのです。そうすると心の中に純粋な信仰が生まれます。そして御言葉を信じます。神が語られた一つひとつの御言葉は絶対に真実であり、それを「決して否定しない純粋な信仰」で受け取るのです。そうすれば、御言葉が約束している通りのことが、まさにそのまま実現するのです。

「深きは深きを呼ぶ」。

「そのすべての恵みを忘れるな。主はあなたのすべての咎を赦し、あなたのすべての病を癒される。」

7 神は教会において、それぞれの役割をお与えになりました。ある人は教師、ある人は使徒、ある人は預言者。また癒しの賜物、異言を語る賜物、異言を解き明かす賜物——それら多くの賜物を、神ご自身がみこころのままに教会に備えてくださったのです。すべては一つの目的のためです。それは御からだを建て上げ、教会を強め、一つにまとめ、私たちがもっと神を愛するようにするためなのです。

そして、今夜私に委ねられているのは、「神の子の神聖な啓示」です。主権的な恵みと神の選びによって、神は生きておられるということを現すためです。

私にとって「幻を見る」ということは、ごく自然なことです。皆さんが「お腹が空いた」と感じるのと同じくらい普通のことなのです。それが私の性質なのです。

しかし、今日の教会の多くはそこに失敗しています。そして敬意をもって申し上げますが、兄弟姉妹の皆さん、私たちが「自分ではない何かになろう」としてしまおうとき、そこに問題があるのです。茶色の目を緑に変えることはできません。「あなたが思い悩んだからといって、誰が自分の背丈を一キュビトでも伸ばすことができるだろうか」と主は言われました。

賜物と召しは、人間の努力や悔い改めによって得るものではなく、神が変わらぬご計画の中でお与えになるものなのです。

8 人は生まれながらにして「歌い手」として生まれてくるものです。

ある時、私は小さな娘のためにクリスマスの贈り物として、小さなピアノを買おうとしていました。娘はどうやら音楽に興味を示していて、弾けるようになりたいと思っていたのです。私の妻もピアノは弾けません。そこで私がその小さなピアノの前に立ち、なんとか和音を鳴らしてみようと試みていました。

すると、そこに八歳くらいの小さな男の子がやってきました。靴も履いておらず、髪は肩まで伸びていて散髪が必要な状態、着ているのは古くてボロボロの上着でした。その子はじっと私を見つめて言いました。

「おじさん、何をしてるの？」

私は答えました。

「この和音を出そうとしているんだよ。」

すると彼は言いました。

「貸してごらん。」

私は心の中で思いました。「この貧しい無学な子どもに、一体ピアノの何がわかるだろうか」と。ところがその子は本当に達人でした。思いのままに、何でも弾くことができたのです。

私はただ驚いて見ているしかありませんでした。すると彼は今度は近くにあった小さな木琴を手に取り、「きよしこの夜」を奏でました。それは今までに聞いたこともないほど美しい音色でした。そしてまた、店に置かれていた長さ15センチか20センチほどのガスを拾い上げると、その管を吹いて「星条旗よ永遠なれ」を演奏したのです。

私は尋ねました。

「坊や、音楽のレッスンを受けたことがあるのかい？」

すると彼は答えました。

「レッスンって何？」

そうです、彼は生まれながらの音楽家だったのです。学んだわけではなく、生まれつきの賜物だったのです。

ピアノでも何でも、私がただ音を鳴らすだけならできたでしょう。しかし、本当の「名人」は弦をどれくらい張ればよいかを知っているのです。彼の中に「これだ」と教えてくれるものがあるのです。

神の賜物もまったく同じです。それは「自然に」与えられるものです。幻を見ること自体が誰かを癒すわけではありません。けれどもそれは助けとなります。教会を正しい位置に整える助けとなるのです。

9 さて、たとえば——ここにいる皆さんのうち、夢を見たことがある人はどれくらいいらっしゃいますか？手を挙げてみてください。おや、三分の二くらいの方が挙げられましたね。夢をまったく見ない人もいます。

よく聞いてください。夢を見る人というのは、決して「単に無視されている者」ではありません。夢というのは潜在意識からのものです。分かりやすく言えば、人には第一の意識(顕在意識)と第二の意識(潜在意識)があります。普段、顕在意識が働いているときは潜在意識は休んでいます。逆に、顕在意識が静まるとき、潜在意識が働き出すのです。

皆さんの中で、幼いころ見た夢を今でもはっきり覚えている方がおられるでしょう？それはその夢がどこか別の意識の中に記録されているからです。それは今の顕在意識ではないところで見たものを、別の意識が覚えているのです。

そして、その潜在意識の中に神がおられ、しばしば夢を通して語られるのです。聖書にも最後の時代に年老いた者たちに夢で語られると書いてあります。しかし夢自体は必ずしも完全に正確ではありません。ヨ

セフの夢やネブカドネザルの夢のように明確なものもありますが、夢には解釈者が必要な場合が多く、解釈者のない夢は解釈が難しいのです。繰り返しますが、それはあなたの潜在意識の領域なのです。顕在と潜在の二つがあるのです。

10 では、夢を見ない人はどうでしょうか。彼らの潜在意識は壁の奥深くに引っ込んでしまっているのです。だからそこへ届かない。深く眠り、何にも目覚めさせられない。彼らは夢を見ることができないのです。逆に、夢を見る人もまた自分の意思で夢を見ることはできません。もし私が皆さんに「いま夢を見なさい」と言ったとしても、それは不可能です。夢は意志で作れるものではないのです。

さて、友よ 先見者(シーア)というもの——神はあなたをそのように造られ、夢を見るようにされました。多くの人は夢を見ることがないかもしれません。しかし、先見者、預言者というものは、手を置いて作り出すようなものではありません。預言者は生まれながらのものなのです。賜物も召しも、神のご計画によるものであって、人の悔い改めや努力でどうにかなるものではありません。

「賜物と召しは取り消されることがない」のです。

11 イエス・キリストは、エデンの園からして神のひとり子でありました。モーセはこの世に生まれながらにして預言者であり、正しい子でありました。ヨハネ・バプテストは、その生まれる七百十二年前にすでに「荒野で叫ぶ者の声」として預言されていました。イザヤはそれを見ております。主はエレミヤに言われました——エレミヤ書一章四節、「あなたが母の胎に形づくられる前から、私はあなたを知り、聖別し、国々のための預言者として定めた」と。これらは、取り消されることがない御計画なのです。

夢を見る人は、自分の意志ではどうにもできません。夢を見ない人も、どうにもできません。しかし、先見者はどうでしょうか。彼の潜在意識は、奥の方でもなく、ここでもなく、ちょうどこの瞬間にあります。先見者は眠って夢を見るものではありません。ひとつの状態から別の状態へ、目を覚ましたまま切り替わるのです。彼は自分の意志でそれを行っているのではなく、それは神の働きなのです。

12 けれども、もし神から賜物を与えられていながら、それを神の栄光のために用いないなら、その人は裁きの日に必ず神の前でその責任を問われるのです。祝福を受けることなく、ただその賜物を無駄にしてしまうのです。

私は以前、この国の中部でラジオを通して「レッド・フォーリー」という名の歌手を耳にしました。彼は「ピース・イン・ザ・バレー」という歌を歌っていました。本当にすばらしい声を持っていました。しかし、彼はその声を何のために用いているのでしょうか？神はそのことを必ずお問になられます。

また、スチュアート・ハミルトン——彼はカリフォルニアでグラハム兄弟の集会において救われた映画俳優でした。神は彼を祝福し、「神にできないことは何ひとつない(It Is No Secret What God Can Do)」という歌をレコードに残すことを許されました。その歌はこの国全体の中で第一位を取るほどのものでした。美しい言葉に満ちたその歌を、彼はキリストのために歌ったのです。

皆さん、神は私たちの賜物に対して責任を問われます。賜物は自分のためではなく、主の栄光のために用いるべきものだからです。

13 私が生まれたのは、生後三か月ほどの小さな赤ん坊のとき、ケンタッキー州パークスヴィルのあたりの小さな小屋でした。古びた、小さな小屋で、屋根は板葺きの粗末なものでした。母は藁を詰めた布団に横たわり、枕にはトウモロコシの殻を詰めただけのものを使っていました。おそらく今夜ここにいるケンタッキーの方々でも、それがどんなものかご存じない方もおられるでしょう——「ストロー・ティック」とは藁を袋に詰めて敷布にしたもの、「シュック・ピロー」とはトウモロコシの殻を枕にしたものです。

床板のない小屋の壁際に造られた小さな寝台。丸太を切り、三本の足をつけて作ったテーブル。納屋の古板を外して作った長椅子。それが私たちの食卓でした。まことに貧しい暮らしでした。

母は十五歳、父は十八歳でした。窓といってもガラスはなく、小さな板を押し開けるだけのものでした。そこが、神が私に命を与えられた場所でした。

私たちは医者から四十マイルも離れていたので、産婆さんが取り上げてくれました。産婆さんが私を洗い、母の腕に抱かせたとき、母は窓を開けました。それはちょうど朝五時ごろ、夜明けの最初の光が差し込む時間でした。母はわが子を見ようとして窓を開けたのです——すると、その光が射し込んできたのです。その場にいた皆が泣き出しました。

14 十五か、十八か月ほどのころ、私は最初の幻を見ました。小さな小川のそばに立っていると、藪の中から何かが私に語りかけてきて、「おまえはニューオールバニという町の近くに住むことになる」と告げられました。私はその後の生涯をまさにそこに費やしました。二年ほどして、私たちは引越したのです。

その後、大人になってからは、多くの牧師たちが私を落胆させました。「それは悪魔のものだ」と言う者もありました。しかしある栄光の日の夜、私は熱心に祈りつつ、主に「私は主を愛しています。間違いたくない。正しいことをしたい」と告げ、この賜物を取り除いてくださるよう願ったのです。すると、一人の御方が床を渡って現れ、真理を語ってくださいました。それは神の臨在から遣わされた方であり、「世界中を回って王や君主のために祈りなさい」との使命を告げられました。

当時、私は宣教師バプテスト教会に属するバプテストの牧師でした。それを司教に告げると、彼は嗤って私を突き放し、「悪夢だ」と言いました。私は自分の証明書類を彼の机の上に置き、「もしバプテスト教会がそういう考え方なら、私は主に仕えます」と申し上げました。他の人がどう思うかは知りません。しかし、もし神がそれを遣わされたなら、必ず受け取る者も用意されていると私は知っていたのです。

15 私は旅立ちました。皆さんはその話をご存じのことと思います。そして今夜、私は自分が生まれたこの故郷の州に帰ってまいりました。私はここが好きです。この人々が好きです。そして、私を愛し、その血と御言葉によって私たちを罪から贖ってくださった方——そのお方を代表して、最善を尽くすためにここにおります。

ダビデとともに私は言います。

「主をほめたたえよ、我がたましいよ。主の恵みを忘れるな。主はあなたのすべての咎を赦し、あなたのすべての病を癒される。」

私のクリスチャンの友よ、今夜もし私が神の賜物によってイエス・キリストをあなたに代表して示すことができ、あなたが少しでも強く御子を信じるなら、病は癒され、罪人は罪を赦されます。もしそれが起これば、私は今夜枕の上で大いに喜んで眠ることでしょう。

もし明日私は起き上がれなかったとしても、神がそうお望みになるならば、私は最善を尽くしました。私は真実を語り、正直に生きてきました。神の賜物は、どの国においても、どのような悪しき勢力が立ち上がろうとも、試されてまいりました。あらゆる悪魔的な勢力や学者たちの反対をも通り抜け、火の試練を経ても、神は必ず勝利され、すべてを覆して来られました。

私は中央ケンタッキーの、神の王国の同胞である皆さんに対して誠実であろうと努めてまいりました。どうか神が、私の一生を養いこの場所へ私を導いてくださったその御使いをして、今夜ここに臨在して下さり、私が申し上げたことが真実であると確かめてくださいますように。これが私の祈りです。では、皆で頭を垂れて祈りましょう。

16 主よ、心の奥底から、私はこの尊い人々に向かっていくつかの言葉を告げました。ここにおられる多くの方は貧しい方々で、私たちは皆、体や魂のことで思い煩いを抱えながら、いつかは全てを置いて渡り、その川を渡り越さねばならないことを知っています。いつか私もそこへ行く時が来ます。年が経つにつれて、それがますます近づいているのを感じます。ある日、私はあの渡しに立たねばなりません。父よ、私はかねてよりお願いしてきました。河のところで苦しみを味わわせないでください。あの時は平和に渡りたいのです。最後の説教を語り、最後の病人のために祈り、聖書を閉じ、すべての茨の道を通り越え、あらゆる丘を越え、すべての責務を果たし、年老いて——プラナム兄弟のように年をとれば、麻痺や震えで倒れるかもしれません。私は杖をついた老いた病人としてあそこに立っている自分を見ます……しかし、ヨルダンの岸に立ったとき、私は行かねばならないのを知っています。父よ、どうか兜を岸に置き、剣を鞘に戻すように、御恵みのうちに身をゆだねて、電球のスイッチを切るかのようにこの世の灯を消して、主よ、より良き国へ連れて行ってください。どうか今夜、私は家に帰らせてください。そこで今夜ここにいる一人ひとりに会えますように、栄えある不滅の体で。もう二度と病気のために祈ることはない、病も悲しみもない国で会えますように。

父よ、私たちがこの世の戦いの中にある間、どうか強く勇敢でいさせてください。あの水の向こう側には永遠の住まいがあることを知って、戦いの傷跡を負いながらも偉大な戦士としてその日を迎えられるように。詩人は言いました：

「私は花のような安らかな床に運ばれて天に行くべきか、

他の者が戦って勝利を得る間、血の海を渡るべきか——」

神よ、どうか私たちをその栄光ある道へと導き、守り給え。

さて今夜、聖霊が臨み、神の御使いたちがここにおられる一人ひとりの周りに宿営し、復活された主イエスの大いなる力が影のように覆い、御使いたちがこの建物の上に翼を広げ、その翼から御業の露が滴り落ちて、あらゆる病める者に神の癒しの露が注がれますように。罪人のもとに罪の赦しが降り注ぎ、彼らが救われ、いやされますように。これらを、御愛する御子イエス・キリストの御名によって願い求めます。アーメン。

17 昨夜は百人ほど残してしまっていましたか？では今夜は最後のところをやりましょう。さて……祈りのカード、85番を持っている方は？(九時ごろ…)【ブラナム兄弟が誰かと会話する場面】85番のプレイヤーカードはどなた？裏に番号とアルファベットが書いてある小さな青いカードです。表には名前と住所が書いてあります。

プレイヤーカード85番の方、手を挙げてください。私、見落としてませんか？あ、85番？86番？86番の方、手を挙げてください。こちらへおいでください、奥さん。86番のカードは？はい。87番？88番？89番？90番？100番までそのまま並んでください。順番に並んでいるか確認してくださいね。時々耳の遠い方がいて自分の順番を聞き逃すことがありますから。

お隣の方のカードも見てあげてください。どうぞこちらに来て、この列にお並びください。もしご自分で来られない方がいらっしゃったら、席の周りを見てください。番号が呼ばれて来られない方のために、案内係が連れて来ます。また、耳の遠い方がいれば、どなたか手伝ってあげて、何番か一緒に確かめてあげてください。あ、彼はカードを持っていないのですね。ご協力ありがとうございます。

さて、皆さんが並んでいる間に、きちんと全部揃っているかどうか確認しておきましょう。

18 良い古い賛美を歌いましょう。「Only Believe」ではなく、手を上げてこう言いましょう——「今、私は信じます、主よ、今、私は信じます」。どこにいても皆さん一緒にやってくださいますか？さあ。

今、私は信じます、今、私は信じます、

すべては可能です、今、私は信じます；

今、私は信じます、今、私は信じます、

すべては可能です、今、私は信じます。

19 その劇的な場面を想像してごらんください。丘の向こうを彼が下って来る、三人の男——ペテロ、ヤコブ、ヨハネが寄り添っている。彼らは変容の山にいたのです。私はてんかんを患う子を抱えた父親の姿を見ます。人々はそれを「悪霊のせいだ」と呼びました。本当にその通りなのです。

ボズワース兄弟があることを触れたかもしれませんが、教えを確かにしておきなさい。病気とは何か、その結果がどういうものか、そしてどうやってそれを取り除くかを知らなければなりません。知らなければ、その病はここに留まってしまいますよ、間違いありません。しかも、サタンとどう戦うかを知らなければ、また戻って来るのです。

20 さて…イエスはその子を連れて父のところへ来られました。そして言われました。「しばしば、悪霊がその子をとらえて火の中へ投げ入れ、また水の中へ投げ込み溺れさせようとする。やつは悪霊のはたらきだ」と。

イエスはそのことについて語られました——

…ところで、祈祷カードの91番、92番、93番はどなたですか？今夜は91～93番が見当たらないようです。向こうから来た方のうち二枚が足りないようですが、今夜は担架に乗っている小さな少年しか見当たりません。お姉さん、あなたの祈祷カードは何番ですか？あ、持っておられないのですね。では次は92番でしょうか。カードの裏を見てください。今ここに上がっていない方は、お隣の方のカードも見て、耳の聞こえない方や順番を聞き逃している方がいないか確認してください。耳の遠い方は自分の順番を失ってしまうことがあるのです。わかりますか？もし今揃っていないとしても、明日また別のカードが用意されますので安心してください。

21 さて、イエスはそちらへ下って来られました。そしてその人がイエスの前にひれ伏すと、こう言いました。

「主よ、わが子をあわれんでください。彼は悪霊に取り憑かれてさまざまに苦しめられ、夜になると火の中へ放り込まれ、また水の中へ投げ込まれて溺れそうになるのです。これは悪霊の仕業です。」

父は言いました。「私は彼をあなたの弟子たちのところへ連れて行きましたが、彼らには何もできませんでした。それで私はあなたのところへ連れて来ました。」

するとイエスは仰せられました。

「あなたがたが私を信じるなら、私はできる。信じる者にはすべてが可能である。」

そしてイエスがその子から霊を追い出されたとき、その子はこれまでになくひどく苦しみ、まるで死んだかのように倒れました。人々は彼が死んだと思いました。しかし、それは霊のはたらきであったのです。

(…プレイヤーカードの確認のやりとり…)

「さて、それは次の方でしょうか？プレイヤーカードをお持ちの方はいらっしゃいますか？…わかりました。ではこちらどうぞ、奥さん。」

22 さて、その同じ主イエスがここに来られた…。今、ひとつお願いがあります。ちょっと時計がよく見えないのですが、ここで少し休憩の時間を取ります。毎晩あまり遅くならないように早めに終わるようにしているのです。進行が少しのんびりすることもあります。

今日の人生の問題というのはね、友よ、私たちは物事を急ぎ過ぎているということです。人生をこんなに急いで通り抜けていく。ゆっくりやりなさい、ということです。

ある人が言いました。「集会に行ったけれど、祈ってもらえなかったから帰ったよ」と。もしあなたがメイヨー・クリニックに入れたとしても、三か月座って待つでしょう。そこで彼らはあなたに何かしてくれるわけではありません。ただ何が悪いのかを教えるだけです。ジョンズ・ホプキンスでは手術を勧めるかもしれない…結局は別の医師のところへ行けと助言されるだけです。しかし、診断を受けるために何か月もそこに座っていることになる。結局は人がそう言うのです。

しかし、このやり方は全能の神による道なのです。ほら、あなたがたがどれほど急いでいるか見てもらいなさい。クリスチャンたちがどれほどこのところから離れてしまったか…。私は神があなたがたを助けてくださると信じています。

23 ご機嫌いかがですか、奥さん？ さて、この方を私は存じ上げません。天の神はご存知のとおり、私はその婦人のことを何も知りません。生まれてこのかた、一度も会ったことがないのです。

おそらく今夜が私たちの初対面でしょうね、奥さん。あなたは私のことを何もご存じないし、私もあなたのことを知りません。しかし、この婦人はクリスチャンです。歓迎の心を持っておられます。そして今、この祭壇の上に何か臨在していることをはっきりと感じておられます。それは人ではなく、神の御使いです。

審判の日——私たちがその日立たされるときのことを思いなさい。今夜、ここケンタッキー州オーエンズボロ、十一月四日の夜に、夜九時、神の御使いは私が立っているところから二フィートほどの近くにおられます。これを説明することはできませんが、私は知っています。その臨在を知っています。それがここにおられることを私は知っています。それは私の一生と共にいてくださったお方です。「わたしはあなたと共にいる」とその方は私に告げられました。皆さんも小さな本の物語をお読みになったことでしょう。

その御使いはその婦人のことを知っておられます。私は知りません。しかし、もし私が御使いに心をゆだねることができれば、御使いは私に教えてくださるでしょう。もし心をゆだねられず、御使いの御心が私に示されないなら、私はその婦人について何も知らないままでしょう。

どうか、この間はできる限り畏敬の念をもって静粛にしてください。今この間、批判的な態度を取る方がいても、それは私の責任ではありません。中斷があっても私は責められません。なぜなら事柄は次から次へと起こるのです。私はこれまでに、てんかんのような邪悪な霊が人から追い出される場面を見てきました。批判する人が床に倒れるのを見たこともあります。十人、二十人、三十人といっぺんにてんかんの発作で倒れ、席でも床でも泡を吹く者を見たことがあるのです。ですから、どうか畏敬のうちに、指示に従ってください。今は遊びではなく、聖書のことば、神の御言葉なのです。

24 使徒の働き十九章のことを覚えている人はおられますか？ある若者たちが、てんかんを患う人から悪霊

を追い出そうとしたところ、その悪霊が若者たちに臨み、皆てんかんに襲われて、衣服を剥ぎ取って通りを走り回ったという話です。覚えておいででしょうか?…どうかできるだけ敬虔にしてください。

さて、その婦人に話しかけたいのです。今、この婦人は手を挙げられましたが、彼女は私のことを知りませんし、私も彼女を知りません。しかし、神は私たち二人のことを知っておられます。主は彼女が人生でしてきたことを知っておられ、私がしてきたこともご存じです。今や主はそれを私に明らかにすることができるのです。もし主がそれをなさるなら、あなたがたのうち何人が主を受け入れて「イエス・キリストがここにおられる」と言ってくださいますか?

この場にいる誰か、この婦人を知っている方はおられますか?手を挙げてください。近くにこの婦人をご存じの方がいらっしゃるのが見えます…さて、少しお話を伺いたいのです。

25 さて、もしイエスが死人の中からよみがえられたのなら——私たちが知っているように、実際にそうであるなら——イエスはこの世の終わりまで私たちとともにいると仰せられました。そうでしょうか? それなら、もしイエスが死人の中からよみがえられたなら、イエスは「私がする事を、あなたがたもするであろう」と言われたのです。ご自分が父に示されなければ何もできなかったように、ということです。言い換えれば、神なる父は「火の柱」におられたのです。あれが神、父でありました。そして誰もそれに触れることはできなかった——たとえモーセであっても。たとえ獣が山に触れようものなら、それは打たれて死なねばならなかった。その物語を皆さんはご存じでしょう。あの燃える柴の中の炎の輪、火の柱、それがやがて下って来て、私たちのうちに肉となって現されたのです。その同じ「火の柱」がなおも神であったのです。

よく見なさい。そして、この神の子が死なれたとき、彼の霊は罪ある人々のうちに戻って来られたのです。わかりますか? それは聖なる、処女より生まれた方—戻って来られた。これが、神が三尺の物差しのようにご自身を現されたという意味です。第一の一尺は神、父;第二の一尺は神、子;第三の一尺は神、聖霊。だから私たちは「父と子と聖霊の名において」バプテスマをするよう命じられたのです。けれども、それは三つの神ではなく、同じ一つの神です。もし三つの神ならそれは異教でしょう。われらの神は一つの神なのです。神がご自身を人の方へと展開しておられるのです。そしてなぜそうなさるかという、人のうちに降りてきて人々と共に住み、助けるためなのです。なんとすばらしいことでしょう。今夜、あなたを助けるためにそうしてくださったのです。

そして私のような罪人も、恵みによって救われました。しかし神はご自身を朽ちる者のうちに展開して、互いに助け合えるようにしてくださったのです。いや、私があなたを癒すのではない——それはカルバリーで既に成し遂げられたことです。私が罪を赦すことも、あなたを癒すこともできません。誰もできないのです。神がそれをなされたのです。しかし今、賜物は教会に置かれて、まさにそのことを指し示すためにあるのです。

26 今、私はイエスが井戸の女性と行ったように(そうですか?)彼女の問題がどこにあるかを見つけるためにあなたと会話をしています。そして、あなたは何かがあることを意識しています。聴衆が知っているかもしれないとしたら、その感覚は奇妙です。あなたはどこかに神の存在の前にいることを知っています。何が起こったのか分からないけど、何かおかしいことが起こったんですね。そうであれば、手を挙げてください。わかりますか? 今、私はあなたの心を読んでいません。それはただの天使のような存在です。あなたはそれを確信しています。

鼻に問題はありますか? それは、鼻の中の癌です。そして、あなたは誰かについても邪魔されています、それはあなたが男の子を持っていること、そしてその男の子が病院にいることです。そうですか? そして、彼は胃の問題、彼の胃の中に何かを持っています。それは胃の中の癌です。それは本当ですか? さて、お母さん、それは私の声でしたが、それは私ではありませんでした。わかりますか? あなたに言われたことは、それが真実でしたか? それのすべてのビットは真実ですか? あなたは知っています...どうすれば...私はそれについて何も知りませんね? まあ、それが何であったとしても、真実です。それからここにあなた自身について何かを明らかにしている何かがあります。そうですか? あなたはそれをあなたを助けるために神の臨在から送られた神の天使として受け入れられますか? しますか? ちょっとここに来てください。頭を下げていただけませんか。

憐れみ深い父よ、私が私たちの姉妹に手を置き、神の憐れみを求めるとき、あなたが彼女の体を癒し、あらゆる方法で彼女を祝福していただきますように。そして、彼女が必要としているものは何でも、私は天の父であるあなたに、彼女が必要としているすべてのものを供給するように頼みます。彼女を癒し、元気にしてください。主よ、それを認めてください。あなたがこれらの言葉を言ったので、私はこの祈りを祈り、あなたに送ります、「彼らが病人に手を置かならば、彼らは回復するでしょう」。そして、私はイエス・キリストの御名によ

ってこの悪魔が彼女を去るように頼むので、彼女の回復を求めます。アーメン。

さて、神はあなたを祝福します、姉妹。もしあなたが...あなたが癒されたと信じているなら、これを報告してほしいのですが？ 大丈夫です。あなたは今近くに住んでいます。私はあなたが欲しい一数日後に戻ってきて証言し、あなたに何が起こったのかを教えてください。あなたはそれをしますか？ 神はあなたを祝福します、姉妹。大丈夫です。神はあなたを祝福します、私の妹。

27 大丈夫、持ってきてください...あなたは今心から信じていますか？ 心から？ 人と話すほど、それが明らかになります。分かりますか？ ビジョンはあなたから力を奪うので、通常それはあまり多くの人を言いません。一つのビジョンは一日中説教するよりもあなたからより強い力を奪うでしょう。

ハウディ、レディ。私たちも見知らぬ人だと思えますよね？ そして、私たちは見知らぬ人です。それは... 神は私たち両方を知っていますね？ 私たちはおそらく何マイルも離れて生まれ、年差があります、そして...しかし、神はこの間ずっと私たちを養ってくれました、そして私たちは今夜彼の前に、ここで彼の中にいます。私たちは証言を支持しなければなりません。私たちはイエス・キリストによって上下します。そうですか？

28 そして、あなたはただそこにいて、ここでプラットホームに呼ばれ、私たちが人生で初めて会った人なのです。はい。しかし、イエスは私たち両方を知っています。あなたはクリスチャンです、そして今私は得ます...私はそれを信じています、お母さん。なに？ あなたは私に自分の母親を思い出させます。私一心から、あなたは神の僕であると信じています。あなたは苦しんでいます...?... [ブラナム兄弟も話している間、女性は話します]神はそのためにあなたを祝福します。さて、あなたは今あなたに反応している別の何か、何かがあることを知っています...

毎晩気づくとしたら、信仰が高まり始めると、患者が来ると何が違うのかがわかります。数晩待ちます。神が集会に落ち着くと、あなたは見ることになり、夢にも思わなかったようなものが見えるようになります。人々が...あなたは今少し怖いとき、あなたの多くは。そうではないとは言わないでください。ええと。私は感じます...私は知っています。分かりますか？ あなたはほんの少しです...「まあ、何だろう？」それはすべて数日ですり減るでしょう。あなたは一つの霊と一つの一致に入ると、そしてあなたは主が大きく動いているのを見るでしょう。分かりますか？

29 さて、お母さん... 'コース、あなたと私は、見知らぬ人であり、会ったことがないので、神はここで何かをしなければなりません...?...しかし、もし神がどこかであなたの人生について何かをするなら、あなたが小さな女の子だったとき、または何か別のことをしたとき、それは絶対に真実であり、それが真実であることがわかると、将来がどうなるかがわかります...もしあなたが—もしそれが本当なら、あなたは未来が真実であることがわかるでしょうね？ しかし、あなたは私たちがお互いを知らないことを知っていますが、彼はここにいて、彼は愛と思いやりに満ちています。彼はそれです。

私を見てほしい。そうではありません—私はそうではありません...分かりますね、私がおのように言っているのは、ピーターが門を通過するときに「私を見てください」と言ったようです(分かりますか?)。言い換えれば、彼の注意を引くためだけに。分かりますか？

そして、私はそれがエホソファであったと信じています、ある時、預言者エリヤに会いに出かけました、そして彼は「もしそうでなかったら...」と言いました。不信者。彼は母親のイザベルから偶像を崇拝していました、そして預言者はすべて混乱しました。彼は、「もし私がエホソファの存在を尊重しなければ、あなたを見ることさえしなかったでしょう」と言いました。分かりますか？ 預言者は怒りました、そして彼は...預言者が怒るだろうと考えるのは奇妙です、しかし彼はそうしました。そして、彼らは彼を霊の中に入れるために(そうです)、いくつかの音楽を演奏しなければなりませんでした。御霊が彼に臨んだとき、彼は幻を見て、彼らに何をすべきかを告げました。そうですか？ さて、それは今夜生きているのと同じ神です。そうです。同じ神。エリヤは続けましたが、神はそうしていません。神は彼の人を取りますが、彼の霊を決して取りません。

30 さて、私はあなたの霊に連絡する目的であなたに話しました(参照?)。そして今、あなたの霊は主の天使と一致して落ちています。あなたは—それは—それは胆嚢またはいくつかの...胆嚢の問題を抱えています。分かりますか？ はい、奥様。そして、私はあなたが医者のおフィスか写真を撮っていた何かを見たのを見ます。そして、あなたは...私は別の何かを見ました:あなたはそれが癌またはあなたの中にある何かであることに警戒しています...あなたはそれが癌であると思っていました。はい、姉妹。はい、奥様。神経質な状態です。そして、私はあなたに言います...ずっと前か何か、あなたは頭か何かまたは他の手術を受けました。それは取り去られた何かか何かです。はい、そうです。ええと。それは...それは...でした...はい。それは真

実ですか？それは何でしたか？操作が実行されているのを見たところです。あなたは神があなたを元気にしてくれると信じていますか？私が彼に尋ねるなら、聴衆、神がこの女性を癒してくれると信じますか？彼女のために私と一緒に祈ってくれませんか。ここに来て、お母さん。あなたの手が欲しいです。私がそのように少し古いしわの寄った手をとるとき、あなたはそれが私をどのように感じさせるか分かりません。私は自分の母親がいたことを思い出します...それはおそらく多くの赤ちゃんの目から涙を撫で戻し、泣いて彼らを揺り動かして眠らせ、多くのハードな日々の仕事をし、洗ったのでしょ。神は彼らを祝福します。

私たちの天の父よ、今夜私がこの小さな弱い手を握っているとき、私は今夜向こうに戻って祈っている自分の小さなおばあさんのことを考えています。そして、私はこれに対する憐れみを祈ります、私たちの愛する姉妹。あなたがこの恐ろしい悪魔を連れ去ってくれることを祈ります。彼女が再び元気になることができるように彼女からそれを取り除いてください。主よ、それを認めてください。

そして今、父よ、あなたがあなたの言葉で「私の名前で彼らは悪魔を追い出す」と言ったことをあなたが成就することを祈ります。あなたはそう言いました、そして私はあなたを信じています。そして今、あなたのしもべとしてのあなたの言葉の権威に基づいて、カルバリーの代表的な方法でやって来て、そこであなたは悪魔とすべての公国に対するすべての勝利を勝ち取りました...そして今、主よ、この地上であなたを代表するものとして、私は挑戦します信仰の決闘の中で、そしてイエス・キリストの御名によって言うこの悪魔は、女性から出てきます。彼女を残してください。神はあなたを祝福します、お母さん。続けて、今あなたの夕食を食べてください。神になりなさい...「神に感謝しなさい」としましょう。アーメン。きっと女性は元気になるでしょう。信じますか？

31 信仰を持ちなさい。私たちと一緒に信じてください。今、誰もがあなたの頭を下げます。この男の聴覚障害者。私は精神が私に向かって動いているのを感じます、そしてそれは耳が聞こえません。彼に聞こえるまで頭を下げてください。ここに来てください。ええと。神よ、天と地の創造者、永遠のいのちの著者、すべての良い賜物を与える者よ、あなたの霊をその人に送り、彼を癒してください。そして、この悪魔がその男にやって来て、車の前を歩いて殺され、時期尚早の墓に送られました。神様、彼は今夜、この恐ろしいことを癒すために敬虔にプラットホームに来ました。そして、私は全能の神、それが彼を去らせる信仰のために祈ります。さあ、あなたの謙虚な僕の祈りを聞いてください。

私の兄弟を縛った悪魔の霊、私はこの地球に来て公国と戦い、サタンを奪った神の子イエス・キリストによってあなたに告発します、そしてあなたはもはや彼を保持する法的権利を持っていません...そして私たちはイエス・キリストの委任の下に立ち、「彼らは悪魔を追い出します」と言って、その人から出てきます。イエス・キリストの御名によって、彼から離れなさい。

聞こえますか？聞こえますか？そしてこれは？聞こえますか？アーメン。今聞こえますか？大丈夫、頭を上げてもいいですよ。このように見てください。その男...私は彼がどれほど耳が聞こえないのか知りませんでした。暗くて冷たい影のようなただの耳が聞こえない霊が、その感動的なもののようにうわー、うわー。今、彼は完璧な聴き取りをしています。

ちょっと聞いてください。ここに来てください。私は本当に低くささやくつもりです。このマイクは非常に敏感です。「アーメン」と言います。「私は主を愛しています。」「神に栄光を」と言います。私はささやいています。ほら、ただ...このマイクに手をかざして、聞こえないようにしますが...主をたたえます。今、私はかろうじてささやいているだけです。これを聞いてください。聞こえますか？今聞いてください。先生？さあ、見てください。聞こえますか？アーメン？神はあなたを祝福します。あなたは癒されました、私の兄弟。さて...分かりますか？病気を見てください。さて、もしその人が信じ続けるなら、それは二度と彼に来ることはないでしょう。

32 さて、もしよろしければ、ここで少し説明していただけますか。聴覚障害者の霊...わかりません。私は医者グループを得て、それが日曜日の夜ここに来るように祈っています。私はメイヨーズクリニックで2回インタビューを受けました。そして、世界中の医師、アフリカ、アフリカ医師会全体が私に交わりの右手を与え、南アフリカのすべての病院を私に開いてくれました。そしてそれは...彼らは「それは本当に神の癒しだ」と言いました。彼らはあそこに私を持っていました。ポスワース氏は、私たちがアフリカにいたとき、彼らが「ブランナム兄弟...」と言ったことを知っています。私たちは...彼らと一緒に朝食をとりたと思っていました。「それは本当に神の癒しです。」言った、そうです。」そして、私は夜を待っています。ここにはミュートがあります。多分まだ今夜。そこにいる男性と指で話している男性が見えます。私ー私は...

ここワシントンにある小さな学校です。公証人は、聴覚障害者のミュート学校の9人が、プラットフォーム

ムを離れたとき、9人全員が普通に近くで話していたと述べています。分かりますか？ そして、多くの場合...

33 さて、これが何をするのかです。あなたがこのように見えるなら、私は彼らのビジョンから少し休むことができます。分かりますか？ おそらく、もしあなたが—ある人が聴力を失っていたら…さて、医者はその人の耳を調べて調べ、X線を撮ります。多分その神経をつまんでいる骨があるでしょう。もしあれば、医者はその骨を動かし、そしてその人は再び聞くことができます。-神経が活性化されます。しかし、あなたは何を知っていましたか...彼がそこを見て「何もできない」と言ったら、ちょうどこのこの男性の耳の神経が死んでいたのと同じように...今、神経が死んだら。それはちょうどここに私の手にある何かのようなものです。さて、バルコニーのいたるところをよく見てください。手の周りに透明なバンドがあり、それが循環を遮断している場合、私の手は青くなりますか？ そして医者が来て彼は見て、こう言いました。「まあ、私にはわかりません、ブラナム兄弟。ただ...神経はここに沿ってすぐに死んでいます。」さて、医者が取り組むことができる唯一のことは、彼が見ることができるものまたは彼が感じるすることができるものです。そうですか？

34 私たちには五感があります：見る、味わう、感じる、嗅ぐ、聞く。そして、彼が現在取り組んでいるのは、彼が見ることができるもの、または感じるすることができるものの2つだけです。まあ、もし彼らの神経が死んでいるなら、なぜ、彼はこの指を切るかもしれません。彼はそれに救いを置かかもしれません。彼は何でもするかもしれません。このバンドが移動するまで、それは決して良くなることはありません。そうですか？ その後、バンドが移動すると、自動的に循環が行われます。それは本当ですか？ さて、何...聖書は、聴覚障害者の霊（そうですか？）、聴覚障害者の霊がその人から出てきたとき、彼は聞くことができたと言いました。さて、それはまさにほんの少し前に起こったことです。聴覚障害者の霊がその人を去ったとき、彼はささやき声を聞くことができます。何が起こったのですか？ それが追い出されない限り、あなたは精神を動かすことはできません。しかし、霊が物から離れると、再び循環が起こり、体が活発になります。私の言っていることが分かりますか？ しかし、それは精神です。聴覚障害者の霊がその人から出て行った。彼は聞くことができました。さて、それは聖書にあった方法です。それが今夜の様子で、当時と同じです。それが今夜ここにある方法です。

35 大丈夫、あなたは私のところに来てくれませんか。さて、あなたが来るとき、姉妹、あなたは心から信じて来るでしょうか？ しますか？ 神が私に正確に明らかにしてくれるなら...」私があなたを見た前に、あなたはここで私の肩に手を置いてください、ちょっと待ってください。精神的なテレパシーではないことがわかるように、聴衆を見ていきます。神があなたの何が悪いのかを明らかにし、ここにあなたの何が悪いのか正確にビジョンを見せてくれるなら、あなたはそれを受け入れますか？ あなたはあなたの癒しを受け入れますか？ あなたはそうするでしょう。さて、主なる神がそれを与えてくださいますように。

まあ、彼がそうするなら、私はできます。彼がそうしないなら、私はできません。はい、先生。あなた—あなたは糖尿病を患っています。そうじゃないですか？ そうであれば、手を挙げてください。私は血が滴るのを見ました。それは優しく薄く、白いように見えました。あなたは彼があなたを癒してくれると信じています—あなたを癒しましたか？ 神はあなたを祝福します。神はあなたを祝福します。主イエスの御名によって、行ってそれを受け取ってください。「神に感謝します」としましょう。

36 大丈夫、来てください。さて、女性、あなたが来るとき、ただこのように見に来てください。神があなたの何が悪いのかを明らかにしてくれるなら、あなたはあなたの癒しを受け入れると信じますか？ あなたはそうしますか？ あなたはその心臓の問題を乗り越えたいですか？ そうです、手を挙げて、「心臓のトラブルを乗り越えたい」と言ってください。あなたはそうし、それを主イエス・キリストの御名によって受け取りに行き、元気になります。「神に感謝します」としましょう。

サー、あなたについて、あなたは心から信じますか？ しますか？ あなたは神があなたを元気にしてくれると信じていますか？ ええと。さて、あなたも胃のトラブルと心臓のトラブルを抱えています。元気になりたいですね？ そうですか？ 行って、夕食を食べなさい。イエス・キリストはあなたを完全にします。大丈夫です。

心から信じてください。ただ—ただ持っている...それは...? ...あなたは信仰を持つためにします。それが人々を刺激し、得るものです...

37 手を上げていると思っていました...? ...大丈夫です。来てください。頭を下げてください。ここにもう一人の苦しんでいる姉妹がいます。天と地を造られた全能の神、その中のすべてのものは、私たちを造られた者、主よ、あなたがこの女性に憐れみ深くなることを祈ります。彼女は福音を聞くのに恵まれていません。ですから、主よ、信仰もなく、メッセージを聞くこともできないかもしれません...私にはわかりませんが、この聴

覚障害者の霊には彼女の限界があります。あなたがこの時間に彼女を救い出してください、あなたが神であり、私たちがあなたの弟子であり、私たちがあなたの僕であることが知られるようになることを祈ります。そして、あなたは死からよみがえり、今夜あなたの民の中に住んでいます。私はこの聴覚障害者の霊に、イエス・キリストの御名によって、女性から出て来なさいと言います。

さあ、ちょっと頭を下げてください。さて、ちょっと待ってください、頭を下げた皆さん。私はその女性を困惑させたくありません。聞こえますか？ここで聞こえますか？ここに私はここにいますか？ここです。大丈夫です。大丈夫、頭を上げてください。これが彼女の耳が聞こえないトランペットです。あなたはそれを耳から取り出さなければなりませんでしょう。彼女は最初は私の声が聞こえませんでした、今では私の声が聞こえるようになりました。今聞こえますか？「アーメン」と言います。今聞こえますか？今、「アーメン」と言ってください。「私は主を愛しています」と言います。アーメン。神は今あなたを祝福します。喜び続けてください。もう煩わされることはありません。ほら、彼女は...

38 大丈夫、来て、レディ。あなたは心から信じますか？夕食を食べて、以前と同じように食事を楽しみませんか？あなたも腎臓に問題がありますね？背中に何か問題があります。それは本当ですか？それだけです。そして、あなたはまた、神経質な状態が原因で胃に消化性潰瘍ができたのです。そうですか？あなたの食べ物を酸っぱくします、そしてあなたはそれを怒らせて胃の問題を抱えています。それは本当ですか？あなたは私が神の預言者であると信じていますか？しますか？あなたも神とのより親密な生活を切望してきました。そうじゃないですか？あなたはクリスチャンであると公言しましたが、クリスチャンになるために生きるべきであるように生きていません。それは本当ではないですか？そうです。それから神に言いに行きなさい、この時から、あなたは心を尽くして神に仕えるでしょう。よろしいですか？やってくれませんか？それから、イエス・キリストの御名によって、行って元気になり、夕食を食べてください。神はあなたを祝福します。「神に感謝します」としましよ。アーメン。

レディ、神があなたを助けなければ、あなたは癌ですぐに死ぬでしょう。そして、あなたはそれを知っています。そうですか？あなたは彼が今あなたを助けていると信じていますか？神はあなたを祝福します。行って、イエス・キリストの御名によって元気になりなさい。アーメン。「神に感謝します」としましよ。神はここにいます。

39 大丈夫、来て、レディ。あなたがただ信じるなら、そこにいる誰もが癒される可能性があります。信じますか？ああ、私の、これは私が聖霊が人々に落ち着くのを感ずるのが好きな方法です。もしあなたがただ神の祝福と神の霊に身をゆだねるなら...私はそれがあなたにとって奇妙であることを知っています。

どうしたの、牧師？あなたはあなたが持っていたその副鼻腔の問題を乗り越えたいですか？あなたはそれについて祈ってそこに立っていました。あなたが牧師で副鼻腔を持っていたことをどうやって知ったのですか？

どうしたの、お母さん？あなたの隣にいるあなたの小さな女の子についてどう思いますか？そうじゃないですか？彼女は何かまたは他のすべてを沸騰させて、沸騰して勃発していませんか？そうじゃないですか？彼女に手を置いてください。彼女はイエス・キリストの御名によって元気になるでしょう。アーメン。

聖霊はここにいます、友達。そうです。アーメン。確かに、私があなたにお願いするのは信じることです。神を信じる。うーん。

40 心から信じてください。ああ、彼は素敵ではないですか？信じますか、レディ、心から？あなたはある種の副鼻腔の問題を抱えています。そうじゃないですか？あなたはある種の腎臓結石も持っていると言いました。そうじゃないですか？ここに別のことがあります。私はあなたの心を読んでおらず、あなたに何も言うためにここにいるわけではありませんが、あなたはあなたが超自然的な存在の存在下にいることに気づいています。あなたは神に満足して生きているわけではありません。そうじゃないですか？なくなった。あなたは最後の数日間について祈っていました。あなたの罪は今あなたに許され、あなたは癒されています。あなたの道に行きなさい。神はあなたを元気にしてくれます。アーメン。

「主を賛美しなさい」としましよ。いいえ、私は彼女の罪を決して許しません。私は神がそうしたのを見ました。彼女はそれを受け入れ、すぐそこに立っていました。その時、神は彼女を元気にしてくれました。アーメン。

41 さあ、レディ。プラットフォームから降りたら癒されたと思いますか？あなたは心からそれを信じますか？受け入れてもらえますか？私はあなたを癒すことができません、レディ。それはあなた次第です。信じます

か？ ここに来てください。神はあなたを憐れんでください。神よ、あなたがその女性を憐れんでくださるように、そして彼女が行って、あなたが彼女に対処して下さいますように、主よ、私はイエスの御名によって祈ります。アーメン。神はあなたを祝福します。

大丈夫、来てください。あなたはインスリンの服用を乗り越えたいですか？ あの古い—あなたに残しておくあの古い糖尿病、それはあなたが望むものですか？ 大丈夫です。神はあなたを祝福します。「神に感謝しなさい」と言って喜んであなたの道を進んでください。

あなたは彼を愛していますか？「アーメン」と言います。確かに、私たちは心から彼を信じています。主なる神が祝福されますように。

さあ、レディ。あなたはあなたがプラットホームを横切っていたときに心臓の問題があなたを去ったと信じていますか？ さて、神はあなたを祝福します...?...アーメン。道を進んで、「神に感謝しなさい」と言ってください。アーメン。

私は彼を愛し、彼を信じています。あなたが彼を信じたいのなら、大丈夫、それはあなた次第です。私たちの主イエス・キリストを通して私たちに勝利を与えてくださった神に感謝します。アーメン

42 あなたはその前立腺の問題を乗り越えて、そこに設定したいですか？ 神があなたを元気にしてくれると信じていますか？ 2列目に戻って、あなたがそれを信じるなら、神はあなたを元気にしてくれるでしょう。しますか？ 大丈夫、立ち上がって、あなたの癒しを受け入れてください。立ち上がって、「私は私の癒しを受け入れます」と言います。神はあなたを祝福します。緊張して、起きて、夜に行ったり来たりして、それは今やめます。アーメン。ハレルヤ。

あなたはそのヘルニアを乗り越えて、列の終わりに設定したいですか？ あなたはそうしたいのです、そしてあなたの足で立ち上がって、そして「私はそのヘルニアの私の癒しを受け入れます」と言います。神はあなたを祝福します、そしてあなたは家に帰ることができます、あなたがそれを信じるならあなたのものを受け取ることができます。私たちの主イエス・キリストを通して私たちに勝利を与えてくださった神に感謝します。

若い先生、首輪を後ろに向けてそこに座り、その男が癒されたので喜んでおられますか？ あなたはそれを信じますか？ 祈りのカードを持っていませんよね？ あなたはあなたが持っていたその干し草の熱を乗り越えたいですか？ よろしいですか？ 大丈夫です。あなたは立ち上がってあなたのものを手に入れることができます。大丈夫です。神はあなたを祝福します。あなたは癒されに行くことができます。「神に感謝します」アーメン。「私たちの主イエス・キリストを通して私たちに勝利を与えて下さいます。」

今、あなたはそうです—あなたは彼の前にいます。そして彼はここにいます、聖霊の油注ぎ。

43 どうですか、先生。私はあなたが良い、誠実な人だと信じています。あなたは主を愛していますか？ あなたはそうします。たとえば、あなたは兵士か何かでした。あなたは撃たれたか怪我をしたことがあります。そうじゃないですか？ そして、それは右肺にあります。そして、医者はそのに皿を置きました。そうじゃないですか？ 私が前に見た誰かがあなたのそばに立っています。ずっと前にここに立っていた女性です。あなたの妻ですね。はい、先生。彼女はほんの数分前にここにいました。何か...私—私はその女性を認識しました。彼女はあなたのそばに立っています。いくつかあります... Wh ...

さて、この道から動いている精神があります。兄弟、このように少し動かしてください。それはあなたの兄と母がすぐそこにいるところです。母親、彼女は、高血圧、胆石を持っています。はい、先生。神はあなた、母に憐れみ深くあり、あなたを元気にして下さいます。

てんかんのある席の端に立って、どう思いますか？ 神があなたを癒してくれると心から信じていますか？ 立ち上がってそれを受け入れてください。はい。アーメン。「神に感謝します」としましょう。神はあなた方一人一人を元気にするためにここに立っています。

行って、兄弟。あなたはそれがあなたを悩ますだろうと感じています。そうではありません。行って、イエス・キリストを受け入れて、元気になってください。

44 聖霊が動いている間に、今ここで癒されたいと思っている人は何人いますか？ 私たちは泊まる夜がありました。私はあなたに何かを尋ねるつもりです。お互いに手を置いて、神様が悪霊を追い出してくれるように祈りましょう...

私たちの主イエス・キリストがこの建物にいることをあなたに証明するために、どれだけ多くのことをしなければならないでしょうか？ モーセには2つのしるしが与えられました。彼はイスラエルの前に一度行って彼らを演じました、そして彼らは彼に耳を傾けました。私が神の僕であると信じるなら、あなたは私に耳を傾けます。イエス・キリストは、1900年前に彼があなたのために死んだときにあなたを癒しました。彼は今ここ、この建物の中にいます。彼の臨在、復活した主イエスはここにあり、あなた方一人一人を癒すことができます。私がおあなたにお願いする唯一のことは、ただ深く誠実になり、神がおあなたを良くしてくれないかどうかを見ることです。

私は神が建物を通してすぐに癒されているのを見ます。そこに黒い帽子をかぶって高血圧の女性が立っているのが見えます。彼女は元気になったばかりです。そして、彼女は茶色の帽子をかぶった女性の隣に立っていて、ちょうどその時うまくいっていました。ここでこの女性は女性の障害を抱えており、元気になっています。そこにいる聴衆を通して神の癒しがあります。

45 ああ、私たちの天の父、神よ、私たちはあなたが私たちのためにしてくださったすべてのことを、私たちの主であるあなたにただ感謝します。あなたの偉大なる存在は近くにあり、あなたはすべての人々を元気にするためにここにいます。そして、私はあなた、愛する天の父よ、この瞬間に、あなたがここにいてすべての人をあなたの神の腕の中に連れて行くように祈ります。そして、すべてが...

[Blank.spot.on.tape]の建物。神の火が落ち始めますように。権力が手を差し伸べ、人々を迎え、主を揺さぶり、今日が彼らの訪問の日であることを彼らに悟らせてくださいますように。これが主が定められた時です。これが彼らの癒しの時です。いつ深い...?...この深い；神は今夜、この聴衆に腕を広げ、しるしと不思議を示しています。

さて、神様、私はあなたがすべての不信仰と懐疑論者を取り去り、すべての不信仰の悪魔とすべての形式的で不敬虔な無関心を追い出し、そしてこの人々を連れて行き、彼ら全員を主に癒してくださるように祈ります。憐れんでください。今、あなたのしもべとして、私はこの部屋にいるすべての汚れた霊に尋ねます。神の預言者として、私はすべての悪魔に人々から追い出されるように頼みます。彼らが今夜ここから無料で行くことができるように。

天と地の創造主であり、永遠のいのちの著者である全能の神は、あなたのしもべの祈りを聞き、今夜、あなたの御子イエス・キリストを通してこれを与えてください。

さあ、頭を下げて、近くにいて、心から信じてください。ボスワース兄弟、ちょっとここに来てください。今、すべての男性と女性は、神としっかりと座り合っています。さて、私がおあなたに言うこの祈りを繰り返してほしいのです。今、あなたはそれを繰り返します、私はそれを繰り返すつもりです、そしてあなたはただそれを祈るだけです。私はそれを言うつもりです、そしてあなたは再一再...確かに、神様、私はサタンを倒すために何が必要かを知っています。神がおあなたにそれが真実であることを証明するために今夜ここでそれを確認したなら。そして、私はアン(その光が今、この聴衆の上にぶら下がっている)がクリームの流れのように見えるのを見ます。

私はあなたに真実を話しました、そして神はそれが真実であると証言しました。そして、私たちはここに一緒に座っているほんの少しの小さなグループですが、今夜このグループ全体を癒してみませんか？ 今、あなたは私の直後、どこでもこの祈りを繰り返します。

[会衆はブラナム兄弟の後に祈りを繰り返す]

全能の神、天と地の創造者、永遠のいのちの著者、あなたのしもべにあなたの祝福を送ってください。私は必死に必要としているからです。主よ、私は福音を見て、聞いて、今信じています。あなたが私の不信仰を助けてください。そして今、長い間、サタンは私を縛り付けてきました。しかし、私は今夜、彼には私を拘束する法的権利がないことに気づきました。私はクリスチャンであり、神から与えられた特権を主張し、今から私の癒しを受け入れます。私はあなたの言葉の上に立って、あなたを賛美するこの建物から行きます。私は信じているので...



www.messagehub.info

説教の語り手

ウィリアム・マリオン・ブラナム

"...第七の御使が吹き鳴らすラッパの音がする時には、神がその僕、預言者たちにお告げになったとおり、神の奥義は成就される。" 黙示録 10:7